

不動産・地域活性化シンポジウム2021

「50年先の世の中へ リ・スタートできるまちづくり」

- 求められる フューチャーストーリー -

【オンライン開催】

- 主催 定期借地権推進協議会
- 後援
- ・一般財団法人 住宅生産振興財団
 - ・一般社団法人 プレハブ建築協会
 - ・一般財団法人 都市農地活用支援センター
 - ・一般社団法人 不動産協会
 - ・一般社団法人 全日本土地区画整理士会
 - ・日本型 HOA 推進協議会

趣 旨

「まち」や「住まい」に関する考え方が、時代とともに変化するなかで、最近では「空き家」や「所在者不明の土地」等の問題が顕在化しています。

わが国の社会環境も大きく変容することが予測されるなかで、今後50年から100年という単位で考えると、これからの「まちづくり」「住まいづくり」には『未来の変化に対する備え』が必要ではないでしょうか。

このシンポジウムではこうした問題について、定期借地権制度も踏まえて有識者の方々にご議論を頂きます。

開催日時

2021年3月12日（金）
13:30~15:45（13:15より入室できます）

参加費

無料

オンライン

zoomのウェビナーによるオンライン開催となります。
どなたでもお気軽にご参加ください。

お申し込み

氏名、所属、メールアドレス、連絡先を下記宛てにメールでお送りください。後日、参加URLを事務局より送信させていただきます。

お問い合わせ

定期借地権推進協議会
事務局：(株)プレイスメイキング研究所 担当：温井・桐原・野末
E-mail：seminar@placemaking.jp

TEL：029-846-1505

13:35~14:55 第一部 基調講演

『まちなりのスタートを考える』

40分

千葉大学 名誉教授 小林 秀樹 氏



●小林先生略歴

1977年東京大学工学部建築学科卒、和設計事務所を経て、80年同大学院建築学専攻修士課程修了、85年同博士課程修了。工学博士。建設省建築研究所、国土技術政策総合研究所を経て、2002年に千葉大学助教授。2003年に同教授となり2020年退官。現在に至る。2011年~2015年日本マンション学会会長。2014年~2017年東京都住宅政策審議会会長など。

【主な著書】

「集住のなわばり学」(彰国社、1992)、「新・集合住宅の時代」(NHK出版、1997)、「スケルトン定借の理論と実践」(共著、学芸出版社、2000、都市住宅学会著作賞)、「密集市街地の街づくり」(共著、学芸出版社、2002)、「日本における集合住宅の普及過程」(日本住宅総合センター、1997)、「日本における集合住宅の定着課程」(日本住宅総合センター、2001)、「生活科学Ⅱ-住民主体の住環境整備」(共著、日本放送出版協会、2006)他多数

『定期借地権だからできる - 住まいづくり・まちづくり』

40分

横浜市立大学 国際教養学部 教授 齊藤 広子 氏



●齊藤先生略歴

筑波大学都市計画専攻卒業、大阪市立大学大学院生活科学研究科修了。

英国ケンブリッジ大学研究員、明海大学不動産学部教授を経て、2015年より現職。

社会資本審議会委員、マンション管理の新制度の施工に関する検討会、住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会会長。日本型HOA推進協議会会長等を務める。博士(学術)。博士(工学)。博士(不動産学)。

【主な著書と受賞】

「初めて学ぶ不動産学-すまい・まちのマネジメント」 「生活者のための不動産学への招待」 「住環境マネジメント：住宅地の価値をつくる」 「新・マンション管理の実務と法律：高齢化、老朽化、耐震改修、建替えなんて怖くない！」等多数。日本マンション学会研究奨励賞、都市住宅学会賞(論文)、日本不動産学会業績賞、都市住宅学会賞(論文)、日本不動産学会著作賞、不動産協会優秀著作奨励賞、日本建築学会賞(論文)、都市住宅学会著作賞、日本不動産学会業績賞、都市住宅学会業績賞、グッドデザイン賞、都市住宅学会論説賞、不動産学会論説賞、都市景観賞等多数受賞

14:55~15:05〔休憩〕

15:05~15:45 第二部 パネルディスカッション「リ・スタートできるまちづくり」

コーディネート：趣旨説明

定期借地権推進協議会 委員長 大木 祐悟 氏

■パネルディスカッション

司会進行 大木 祐悟 氏
 パネラー 小林 秀樹 氏
 齊藤 広子 氏

40分



15:45

終了